

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

「観測史上初の・・・」、「過去最高の・・・」と、異例の猛暑が続く。コロナ禍や世界情勢、物価変動など、心配のネタは増えるばかりだ。何とか知恵をしばりだして、我慢したり覚悟したりしなければならぬようだ。地球規模の気候変動は、もうだいぶ前から叫ばれてきていたので、いよいよ身につまされる事態になってきたのか。

でも、どうか甚大な自然災害は起きないようにしてはもらえないだろうか。人間のわがままか。

峠 ～一年の折り返し点～

「峠」という漢字は、日本で考え出されたそうです。山の上りと下りの境目ということが、よくわかります。

昔は、峠や村境に災いが入ってこないように、また、旅の安全を祈るために道祖神を祭ったそうです。その道祖神にお供え物をささげた、つまり「手向け」というのが、語源だそうです。「たむけ」が「とうげ」に変化していったというわけです。

夏至から11日目にあたる日から、5日間を、「半夏生」といいます。農作業がひと段落して、休息を取った時期、また、毒草や大雨を用心した時期でもありました。

7月2日はちょうど一年間の折り返し点です。一年の峠といえるかもしれません。あらためて、一年の旅路の幸せと、無事を祈りましょう。

(山下景子「美人の日本語」より)

主催事業

「親子講座②」 6月27日(月)

荒牧先生ご指導による親子講座の2回目。おもちゃ遊びで慣れてきた後は、「さあ始めよう、さあ始めよう～・・・」とギターの弾き語りから手遊び、親子ふれあい遊びへと移っていきます。

ビニール袋にハサミで刻んだ色紙を入れ、空気を入れて口をしっかり止めます。セロテープで形を整えたらビーチボールの完成。両手でポンポンとはじくと、中の色紙がチラチラと動いて楽しく遊べます。家でも何度でも簡単にできるおもちゃ。ハサミを上手にを使って、袋の中に入れる色紙の形を工夫することや、手ではじいたり足でキックしてみたり、いろいろなキャッチボールをしたり、楽しく運動もできるねらいもあるように思いました。



令和4年度 第7号
令和4年7月4日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

アンケートの一部を紹介します。

・はじめは固まっていたのですが、徐々にいつものように遊ぶことができました。いろいろな子供たちと一緒に楽しむ機会ができて有難かったです。・家にあるもので簡単にできるおもちゃが作れました。おみやげもあってとっても楽しかったです。またやってほしい講座でした。ありがとうございました。

健康チェック表の廃止

コロナ感染が始まって以来、利用者の皆さんには活動前に感染拡大防止対策チェック表を提出していただいていたまいりましたが、使用制限の緩和に伴い、これは提出不要となりました。

ただし、体調管理やマスクの着用、手指のアルコール消毒など感染防止対策については各サークルにおいて、引き続き実施していただくようお願いします。

感染拡大も収まりつつあるのかな・・・と感じていたところ、新規感染者数はこのところ微増傾向です。日常生活でも活動制限が少しずつ緩和されてきていますが、まだまだ「正しく予防する」生活習慣を続ける必要があるようです。

あまりにも朝から暑いので

朝、8時過ぎに公民館に到着して、換気のために廊下や各部屋のドアを開けています。わずかに空気が動きますが、同時に熱風も入ってきます。活動時にエアコンを入れても冷房効果が弱められ、その分、電力も大きくなるものと思われるので、部屋を利用する際には、ドアを閉めるなど部屋の温度調節をしてください。休憩時間などにドアを開けて換気をするようお願いいたします。

また、活動を終えてエアコンを切ってしまうと、次にエアコンをつけるときに大きく電力がかかるようですので、エアコンのスイッチはそのままにしておいてください。次の団体がない場合は、職員が部屋のアルコール消毒の時にスイッチを切ることになります。ただし、電気のスイッチは切ってください。

クラブ連絡会総会の際には、スイッチを確実に



切ってください、と申し上げたばかりのところ申し訳ありませんがよろしくお願いします。

一服の清涼剤

「梅雨はもう終わり?」、「暑い暑い。まだ6月なのに・・・」、「長い夏になるのかあ・・・。」と嘆いてばかり。マスクを耳にかけても、暑さに耐えられず、人気のないところでは外す毎日・・・。風鈴の音や虫の鳴き声(まだ聞こえてこないですね)ぐらいでは涼しさなんて感じられないほどの急激な酷暑です。皆さんはこの暑さをどのように過ごしていきますか?



一冊の本に出合いました。これまで何冊も読んでいた作家さんの文庫本。短編小説がいくつか編集されています。認知症が疑われる母の介護をめぐる兄弟姉妹の葛藤、友達とはいえなかった同窓生との数十年ぶりの再会・・・、等々。登場人物が生きてきた時代や今の生活環境、これからの生き方や考え方などが、リタイア世代にはぴたりはまって、「うんうん、わかるわかる、そうだよなあ」と、胸にグッとくるのです。静かになった夜中に読むと、深く考えさせられて、気持ちやすとんと落ち着いてくるのを感じます。体の



中の温度が、2, 3度下がる気にもなりました。

冷えたビールをグイッと、もよし。あえて外に出てスポーツで汗をか



くもよし。公民館のサークル活動を楽しむもよし。夏(もう夏と呼んでいいですよ)を乗り切る楽しみを見つけて、元気に過ごしていきましょう。



夏は朝顔

6月の中旬にポットに蒔いた朝顔の種から、早くも双葉から本葉が出てきたので、公民館の正面玄関に定植することにしました。プランターから蔓を伸ばして“緑のカーテン”を作る予定です。大輪咲の色とりどりの朝顔がたくさん見られるといいのですが。小学生に戻った気分で、なんだかドキドキ楽しみです。皆さんもお楽しみに。



(新宿公民館 館長 迎 浩二)

季節の日本語

かさきぎ 鵲の橋 ~恋の架け橋~

織姫と彦星がどのように天の川を渡るかご存じですか?

7月7日の夜、鵲がどこからともなくたくさん飛んできて、翼を広げて橋を作ってくれるのだそうです。

熟語にして、^{じゃつきょう}鵲橋ともいいます。鵲が翼を広げて作ってくれる橋・・・。天の川の橋にふさわしい橋です。

そして、男女の仲を取り持つものを、「鵲の橋」と呼ぶようになりました。鵲こそ、日本の恋のキューピッドといえるかもしれません。

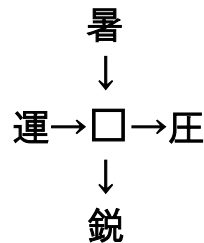
ところで、今の鵲はこの鵲とは違うそうです。昔は今でいう^{あおさぎ}青鷺のことをさしたとか。青鷺は、翼を広げた大きさが、日本にいる鷺の中で一番大きいそうですから、素敵な橋になるのでしょうか。

織姫と彦星も、きっと、ふわふわと夢見心地で、この橋を渡ることでしょう。

(山下景子「美人の日本語」より)

【ちょっとブレイク】

□に入る漢字一文字は?



【今年もキキョウが咲きました】

アジサイも 刹那の梅雨を 恨めしく

・・・もうちょっと楽しみたかった

6月の 梅雨明け セミは間に合わず

・・・夏が早すぎますよ(by セミくん)